

第3回令和6年能登半島地震災害対策支援本部会議 議事要旨

1 日 時 令和6年3月2日(土) 11:18~11:57
(第163回関西広域連合委員会との併催)

2 場 所 NCB会館

3 出席者

<関西広域連合災害対策支援本部>

三日月本部長(滋賀県知事) 齋藤副本部長(兵庫県知事)
山下副本部長(奈良県知事) 平井本部員(鳥取県知事)
永藤本部員(堺市長) 杉本福井県知事(連携団体)
一見三重県知事(連携団体)

<代理出席者>

鈴木京都府副知事 渡邊大阪府副知事
志田徳島県副知事 坂越京都市副市長
山本大阪市副市長 小原神戸市副市長
前和歌山県企画部長

<事務局>

遠藤広域防災局長 他

4 報告事項等

(1) 遠藤広域防災局長から、資料に従って、次の内容について説明した。

- ・ 被害等の状況
- ・ 復旧等の状況
- ・ 石川県復旧・復興本部の設置
- ・ 政府の対応
- ・ 関西広域連合の対応
- ・ 構成府県市の支援状況
- ・ 支援の今後の方向性等

5 確認事項

- ・ 広域防災局からの説明内容が確認された。
- ・ 被災地の状況は様々であり、自治体のニーズ等も酌み取りながら4月以降の方針等を協議できる素材を用意する。
- ・ これまでの振り返りや様々な対応の検証を行っていくことにより、関西構成府県市それぞれの防災力強化に繋げていく。
- ・ 遠方にながらできる協力、観光の問題、さらにはボランティア派遣など様々な問題について、関西地域で協力をしていく取り組みが必要。

<各本部員等からの意見等>

○ 一見三重県知事

- ・ 関西広域連合の皆様にご支援いただき、感謝申し上げたい。
- ・ 中部圏9県1市の幹事県としての三重県の支援状況について報告。
- ・ 輪島市からは、令和6年度も引き続きの支援要望をいただいている。
- ・ 災害廃棄物の問題について、次回、中部圏9県1市の会議で議題とする予定である。ただ、現場では、廃棄物の発生時期、発生量について把握しきれていない状況である。

○ 杉本福井県知事

- ・ 関西広域連合の力は素晴らしいと思っている。支援のばらつき解消に向けた情報共有のため、連絡先名簿を作成するなど、迅速な対応に感謝を申し上げたい。
- ・ 振り返りがとても大切である。今まで、どのタイミングで何をしてきたか考えると次に生きてくる。今、振り返るところしていれば良かったという事例もある。
- ・ 3月16日から北陸応援割が始まります。全国の皆さんにご参加いただきたいので連合の皆様からお声かけいただけると幸いである。

○ 齋藤副本部長（兵庫県知事）

- ・ 現地への応急期派遣から復旧期、そして復興期への息の長い支援をしっかりと続けていくことが大切。
- ・ 行政職員の派遣に加え、ボランティアの支援が必要。兵庫県内には、阪神・淡路大震災以降、ボランティア団体が多い。現在は金沢市からバスで派遣されているが、直接被災地に行き活動をしたいという声が高まっている。兵庫県としても、ボランティア団体へのバス代の支援金等が2月補正予算で可決したところ。
- ・ 「福島・石川応援キャンペーン」として、県庁のカフェ食堂で商品の販売をしているところだが、この度、新たに石川県内の福祉作業場で作られたカレーとコーヒーのセット販売を始めた。
こういった取り組みを情報提供させていただき、関西広域連合内で広げていくことも、我々や県民が遠方でできる復興対策の1つだと思っている。

○ 平井本部員（鳥取県知事）

- ・ 三日月連合長のリーダーシップによる迅速な対応と齋藤知事を中心とした関西広域連合の取り組みが、現地でも非常に評価されているように感じる。
- ・ 市町ごとに復旧、復興の進度に違いがあるため、地域の実情に応じた応援が非常に実効的であると感じた。鳥取県では来週から中長期派遣に先立ち、農業土木や建築等の技術職員を志賀町に短期で派遣することとした。
- ・ 現地では、災害廃棄物のことで頭を痛めており、日本全国で協力地を募らなければならぬかもしれないと聞いている。関西圏でも協力していきたい。
- ・ 鳥取県では、主として物資輸送を支援して、有効に機能し、ノウハウを培うことが出来た。これらの中長期的に総括し、今後の支援や関西が被災した際の対応に活かしてもらいたい。